

『玩具の整理整頓』

「家事や育児で片付けまで手が回らない」「子どもが片付けをしてくれない」という悩みを抱えている方は、多いのではないのでしょうか。大好きな玩具で遊ぶことは、子どもにとって至福の時間です。

また、遊びは様々な力を育むので大切にしたいですね。そこで、子どもが自分で片付けられる7つのコツを紹介します。

①玩具の量を見直す

玩具の量が多いだけで片付けが億劫になります。子どもと一緒に選別して、子どもだけで片付けられる量にしましょう。

②ボックスは軽く痛くない素材を

自分で持てる軽いボックスや、落とした時に痛くない布製や柔らかいプラスチック製を選ぶと、安心して片付けができます。



③棚とボックスの隙間をあける

10cm以上の隙間があると、ボックスを自分で戻しやすくなります。また、隙間があれば、棚に収まっている状態でポイポイと投げこみ収納もできます。

④分類は3～6個

ざっくり&逃げ場をつくる

子どもの玩具は多種多様です。子どもの理解や、性格に合わせてざっくり分類し、分類に困るものは「いろいろボックス」等をつくり、逃げ場を作ると気持ちが楽になり、スムーズになります。

⑤玩具のイラストや写真を貼る

写真やイラストがあることで、一目で何をどこに片付けるのかわかります。



⑥玩具集め専用ボックスをつくる

「どこから手をつけていいかわからない」という時に、玩具集めボックスはオススメです。



⑦子どものやる気を出す声かけをする

担当場所を決めたり、ゲーム感覚で時間を決めると楽しく行えます。自分で片付けができた時に褒めてあげることで、次への自信にもつながります。大きくなったら、“1つ出したら1つ片付ける”などの明確なルールを決めるのもいいですね。ただ、お家の場合、リラックスする場所でもあるのでルールのために片付けるより、子どもが自分で片付けられる経験を重ね、片付けはスッキリして気持ち良いと思えるポジティブな理由で片付けができた方がいいですね。